泉大津市

決裁日令和5年2月15日

支出命令書（一般）

市長	副市長	教育長	部長	次長	課長	課長補佐	係長	担当者
＊＊	＊＊	＊＊	＊＊	＊＊				

会計管理者	会計課長	課長補佐	係長	担当者	入力	財政課合議	検収者	
				＊＊		＊＊		

起票日	令和　5年　2月　15日	所属	080100 市議会事務局
年度	令和　4　年度	会計	01 一般会計
予算区分	0 現年度		

科目	
款	01 議会費
項	01 議会費
目	01 議会費
事業	040000 議会調査研究事業
節	18 負担金、補助及び交付金
細節	90 その他
細々節	06 政務活動費

		控除			タイムカード(出勤簿)確認	
金額	131,958 円		所得税	0 円		
支払回数	1 回		雇用保険料	0 円	源泉徴収確認	
負担行為額	131,958 円		その他	0 円	被服貸与台帳記載確認	
支出命令済額	131,958 円		控除額合計	0 円	通勤経路及び金額確認	
負担行為残額	0 円	請求書番号				
源泉支払内容	**********					

件名	広報広聴費　市政報告チラシ印刷代及びポスティング料金

摘要	(支払額173,000円の内、交付残額131,958円の為、131,958円を交付請求)

債権者等				
支払方法	21 現金払	支払希望日	令和5年　3月13日	
住所				
名称	堀口　陽一			
役職等/氏名				
銀行/口座				
口座名義人		債権者番号		

領収			
住所		領収印	
氏名	堀口　陽一		

上記の金額を領収しました。

支払済

令和5年　3月13日
泉大津市　会計管理者　あて

支出負担行為確認

001

負担行為番号
04-013247

伝票番号
04-020879

呼出番号
00486748

整理番号
04-000018-01

04 01 01-01-01 04-00-00 18-90-06

5年 2.28

供覧	議長	副議長	局長	次長	次長補佐	議事調査係長	庶務係長	主査

別記様式第５号（第４条関係）

政務活動費交付請求書

令和５年２月15日

泉大津市長
南　出　賢　一　　様
（泉大津市議会議長経由）

会派名
代表者名　堀口陽一　印

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第４条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	１３１，９５８円		
内訳	市政報告チラシ印刷代及びポスティング料金 ※支払額 173,000 円の内、交付残額 131,958 円である為、131,958 円を交付請求する。		
支払先	有限会社フジイチ		
予算科目	広報広聴費	交付残額	０円
使用者名	堀口　陽一		

御 請 求 書

立志会　御中

有限会社フジイチ
〒595-0033
大阪府泉大津市板原町3丁目[redacted]
TEL (0725)33-4141
FAX (0725)33-4143

下記の通りご請求申し上げます

令和5年2月2日締め分

当月ご請求額

お振込先 [redacted]

口座名義 [redacted]

173,000円（内消費税:　¥12,000）

1/1枚

日付	製　品　名	数 量	単 価	金 額	備 考
01/31	チラシ	10,000	9	90,000	A3二つ折り
02/02	チラシ	3,000	10	30,000	A3二つ折り
02/02	チラシ	1,000	5	5,000	【税込】ﾎﾟｽﾃｨﾝｸﾞ・ﾌﾚｯｼﾞ
02/02	チラシ	6,000	6	36,000	【税込】ﾎﾟｽﾃｨﾝｸﾞ・HUG

小計:	20,000		161,000

領　収　証　　立志会　　様　No.

★ ¥173,000-

但

R5 年 2 月 9 日　上記正に領収いたしました

内訳

税率	金額(税抜・税込)
%	消費税額等
税率	金額(税抜・税込)
%	消費税額等

泉大津市板原町3丁目15番20号
有限会社フジイチ [redacted]
代表取締役 藤原克彦 [redacted]

財政問題

ここで財政問題にも当然ながら触れることになります。
いくら高齢化社会に備えた医療体制を整えたところで、それが持続可能なものでなければ全く意味がありません。もちろん新病院の建設には多額の費用が必要となりますが、その半分は民間事業者が負担し、さらに残り半分の２分の１、全体からは４分の１は国から地方交付税が措置されます。つまり実質的には全体事業費の４分の１の費用負担で新たに病院を建設しようとする訳です。

■ 一方、仮に今回のプランが無ければどのようになるか？

市立病院に対しては毎年、市から９～10億円の繰出金と呼ばれる財政支援が行われてきましたが、現市立病院はほぼ毎年度数億円単位の赤字を出し続け、その赤字が積み重なって多額になるたびに、市から赤字縮減の追加の支援を仰ぐということを繰り返してきました。
令和２年度には追加支援と合わせて19億円、令和３年度・４年度はそれぞれ16億円にもなり、ようやく累積赤字の解消の目処を立てているような状況です。コロナ禍という特殊な事情があるとは言え、このような多額の支援が今後も続くようであれば、現在の市立病院を維持するためだけに、福祉や教育といった他の市民サービスを削って財源を捻出する日が遠からず訪れることになります。
無論、この場合には地域医療の質的向上は望むべくもありません。
コロナ禍の現在はもちろん、その収束後においても疲弊した市民生活を支え続ける行政サービスに充てるために、多くの財源が必要となるのは誰の目にも明らかです。
今の市立病院の提供する医療と引き換えに他の市民サービスの低下も止む無しとするのか、民間との協働により安定した病院経営のもとで生命を守る地域医療の質の向上を目指すのか、その答えは火を見るよりも明らかではないでしょうか！

令和６年中の開業を目指す
新病院「泉大津急性期メディカルセンター」は、病床数300床と中規模の病院になりますが、脳血管疾患や心疾患に対応する幅広い診療科を揃え、文字通り高度急性期の病院として患者の生命を守る地域医療の柱となる予定です。
一市民としても来年の開業を今から心待ちにしております。

【ほりぐち陽一事務所】 〒595-0031 泉大津市我孫子16-1 TEL/FAX 0725-39-6699

vol.1 令和５年度 維 めざせ！One大阪 タイムズ

One Osaka! 大阪維新の会 おおさかいしんのかい

大阪維新の会が目指す政策 ●教育の無償化 ●公立小中学校での給食の段階的無償化

改革の救命士 ほりぐち陽一（よういち）の市政報告

元泉大津市消防本部勤務経験の救急救命士として知識と経験を踏まえ、ご報告を兼ねて市民の皆さんの率直な疑問にお答えします！

新病院の建設に向けた市の動きについて

昨年12月の市議会において、府道泉大津粉河線沿いの市内我孫子、穴田地区に建設中の新病院の名称が**「泉大津急性期メディカルセンター」**に正式決定しました。
これに先立つ11月15日には現地で安全祈願祭が執り行われ、工事が今後本格化する中で、令和６(2024)年中の開院に向けた準備が着々と進められています。
付近にお住まいの皆様方、一帯をご通行される方々には工事期間中、何かとご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

現在の泉大津市立病院が搬送先となっているのはどれくらいか？

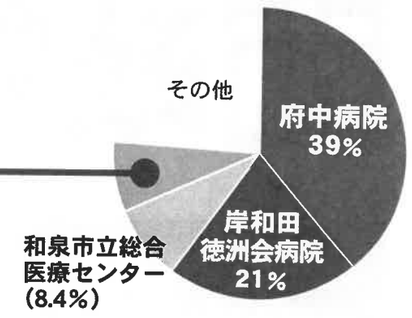
泉大津急性期メディカルセンターの建設の是非については、これまでも様々な議論が交わされてきましたが、私、堀口陽一が元泉大津市消防本部勤務経験の救急救命士として知識と経験を踏まえ、ご報告を兼ねて市民の皆さんの率直な疑問にお答えします！

市内では毎年約 4,000 件の患者が泉大津市消防本部により救急搬送されています。そのうち現在の泉大津市立病院が搬送先となっているのはどれくらいか？令和３年中の実績によると全搬送人員 3902 人のうち泉大津市立病院への搬送人員が 7.8％と実に１割以下に過ぎません。その他の大勢の患者はお隣りにある府中病院（３9%）、岸和田徳洲会病院（２１％）、和泉市立総合医療センター（8.4%）で受け入れられています。

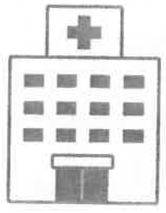
■泉大津市消防本部による救急搬送先の病院(令和3年)

全搬送人員 3902 人の内
泉大津市立病院が 7.8%の
搬送人員にとどまっている。

実に全体の 1割以下 となっています。



では、なぜこのような事になっているのでしょうか
少し長くなりますが、背景も踏まえながら
新病院建設の意義を考えてまいりましょう。



私が議員になって16年の間に市民の皆様から頂いた様々な要望の中に

① 泉大津市は子ども達の勉強できる環境が無い。
② 泉大津市では老若男女が自由に集える場所が無い
③ 泉大津市では、中学校給食が無い
④ 泉大津市では、公園が少なく充実していない
⑤ 泉大津市では、市立病院で救急搬送が受け入れてもらえ難い

これら 5 つの要望が多くありました。

現在の市立病院

現在の市立病院が新病院としてグランドオープンしたのが平成 10 年(1998 年)、今を遡ること 25 年前のことです。当時、泉大津市消防本部救急隊に所属する一隊員であった私は、「これを機に脳血管疾患や心血管疾患に対応する診療科や体制の充実が図られれば…」と秘かに期待しておりました。しかし、我々現場の期待もむなしく、集中治療室（ＩＣＵ）や高度治療室（ＨＣＵ）を備えない病院となりました。

その後に議員となった私は、市立病院の経営が泉大津市財政の最大の懸案事項であると認識し、救急受入率の向上や患者獲得につながる要望や提案を重ねてまいりました。そして、診療科や体制の充実を図るための医師の確保が、派遣元大学医局の強い意向に左右される現実も知り、泉大津市としての思いのみで理想とする医療体制を実現することがいかに困難であるか大きな壁に直面した訳です。

そのような中、泉大津市立病院は近接する府中病院との機能を統合、再編・ネットワーク化の実現に向けて大きく舵を切りました。

脳梗塞などの脳血管疾患や心筋梗塞に代表される心疾患は急激に発症し、数分から数時間で重篤に陥り、要介護となる原因にもなります。今後ますます高齢化が進展し、これらの症例の増加が予想される中で、泉大津市立病院単独ではかなわなかった一分一秒を争う事態に対処できる医療が、民間との協働のもとに建設する新病院において実現されようとしています。

市民の皆様とのお約束を、ひとつずつ前へ前へと進めています！

①と②は新図書館シープラによって、一定の問題解決が出来ました。
シープラではＷｉ-Ｆｉ環境の整備を図って、誰でも自由に学べる環境が整いました。
③では令和元年９月から中学校給食の導入をした上で、令和４年４月からは、オーガニック給食を少しずつではありますが進めています。
④では、小松町の市民会館跡地に新公園として本年６月にオープン予定のシーパスパークとともに、市内既存公園の整備を図っています。
⑤については、令和６年中の開院に向けて泉大津急性期メディカルセンターの建設が進められています。